

高退協ニュース

新年初歩き

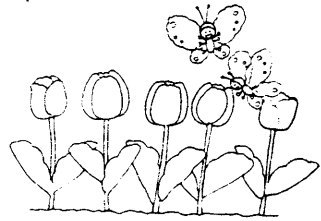
土佐まほろばの道



1月6日(金)、岡豊城跡を9時05分出発。国分寺・紀貫之邸跡・卵塔(乾の大墓)・比江庵寺・野中神社(お婉堂)・谷秦山の墓を巡り土佐山田駅に至る「土佐まほろばのみち」を歩く。卵塔は山内家の家老で乾一門の墓所。卵形の巨大な墓石が並び乾の大墓とも言われ、一見の価値あり。(主家・山内家の墓石より大きい)

午後になって曇りやや寒くなったが風もなく平坦な道で参加者29名一人のリタイヤももなく2時30分目的地に着く。

第2部は龍河温泉で入浴後、恒例の新年宴会で盛り上がる。皆さんの希望で本年から実施日を6日に変更した。ところが1月5日は戦前の祝日で、



活動日誌

2006年

【1月】

- 6日 高退協・山の会合同初歩き・新年会
- 8日 県労連旗開き
- 17日 事務局会
- 21日 勤評8人の先生を偲ぶ会

【2月】

- 4日 山原資料室総会
- 11日 「建国記念の日」に反対する集会
- 21日 事務局会
- 25日 退職予定者学習会

【3月】

- 1日 卒業式ピラ配り
- 5日 母親運動実行委員会
- 7日 四プロ役員会

「天皇が豊明殿に出御し、皇族・国内外の高官を召し祝宴を賜った儀式の日で、旧天皇制下の重要国事の日」であったという。あまり深い考えがあつたわけではないが、この日にしたのはそれに対する意味があつたと聞く。

元に戻すべきや否や?。田舎の由緒ある神社の祭礼なども人が集まらず日曜日に変更するご時世であれば、参加者の便宜を優先すべきや?。

「勤評・八人の先生方を偲ぶ会」

高退協など五団体が主催して二月二十一日に高知城ホールで開かれ、遺族や関係者など一〇〇人(高退協からも多数)が出席し、この五年間に逝去された故人(高退協では丸山嘉兵衛、山原健二郎の各氏)黙祷を捧げ、献花。勤評闘争の教訓を引き継ぎ平和と民主主義を守っていく思いを新たにしました。(報告・小澤)



高知高退協事務局
2006.3.22
No.139

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内2丁目11-10
TEL 088-818-2211 68822
郵便振替口座 01665012111893

第14回 交流会

全退協四国ブロック
05年11月8日(火)~9日(水)の二日間、いまばり湯ノ浦ハイツで四県六組織86名が参加し(高知県退協27名・高退協中川・和田)集會がもたれました。

5分散会で「仲間とともに豊かな生き方を」テーマに話し合われました。

全体会は「伊予水軍の光と影」の記念講演と文化行事、構成吟詠「戦争と平和」が愛媛退教協の皆さんで演じました。

12月7日ブロック役員会が開かれ、交流会の反省と次は香川県での開催、全退教総会は6月7日(水)・8日(木)に箱根で開かれることが確認されました。



二〇〇六年度総会・退職者を励ます会

四月二二日(土) 高知城ホールにおいて高退協総会を行います。終了後今年退職する先生方を励ます会が行われます。

多数の参加を頂いて総会での討議と退職者を励ましていただきたいと思います。

- 申込先
中村正博
○八八八六五五二七〇
小島真子
○八八八四三三〇〇七
原 淳
○八八七五二一六六六
締め切り
四月一八日

老声草

変わる高校入試

今年から「新しい高校入試」が実施されました。受験機会を増やし、入りたい学校への自己推薦入学が出来る。と前期選抜を行いました。おそれなく追々中学校現場から対応に迫られたでしょう。

受験機会と自己選択を上げた改善のポイントを上げていくが、果たしてそうだろうか。

不合格の度にテスト(学科も含めて最多三回)を受けなければならぬ。しかも本当に自由を選べるだろうか?と疑問も残る。むしろ、自分で選んで受けるのだから不合格も自己責任と論議がここでも幅を利かして選べるのにはないかと自由選択と自己責任がセットになっている。入試の側から押し付けられてしまふ。

今までの選抜は君が君が、自分で見直されていく。うに受け取る人もある。うに受け取る人もある。地理的(経済的)に保障されていく。子供達に保障されていく。子供達に保障されていく。子供達に保障されていく。

天橋立・舞鶴へ11月

今秋の親睦旅行は11月に1泊2日で長い砂嘴(さし)を岡の上から股のぞきで眺める天橋立、岸壁の母の舞鶴方面へ行く計画です。詳細は5月にお知らせします。



奈良寺残日録 坪井 幹之

NHKの再生を

作年末のNHK「スキウタ」の視聴率は40%台に達したらしい。1%で100万人と言われているからNHKの宣伝力は物凄い。

実はその受信料は年間二五、五二〇円であるが、私は現在支払いを保留している。理由は三つある。第一に、NHKと政府・与党の癒着問題である。第二が、デジタル問題。第三はやや個人的な問題であるが難聴者対策の問題である。この難聴者問題については、以前にこの欄で述べた。放送局のサジェスチョンに従って「字幕」の装置を附けたが結果は駄目、結局人並みに視聴できるのは外国映画のみである。(その結果ジョン・ウェイン映画の通になった。)

昨年の十二月読書会で岩波新書の「NHK」が論議されて、たいへん勉強になった。触れられている問題は多岐にわたっている。上記の問題にしばしば書いてみよう。

第一の政治との関わりであるが、著者の見解は「メディアは権力から自立し、民衆の立場に立つて権力をしっかりと監視しなければならぬ」と視聴者に奉仕する立場をNHKに要請している。

第二の強制的なデジタル化の問題については、英国のBBCの例を上げて、「せめてイギリス程度の配慮を、NHKは視聴者の立場に立つて政府に求めるべきではないだろうか。」と述べている。この地上波デジタル化は二〇一一年完成が目論まれているが、この放送を見るためには、新型受像機(最低二〇万)か、専用チューナー(最低五万)の購入が必要になるようだ。権力は立法・行政・司法の三権の上に、マスコミの支配を握って世論の舵取りを図っている。「公共放送」であるNHKの自立・更生が求められているのではないか。



米寿お祝い

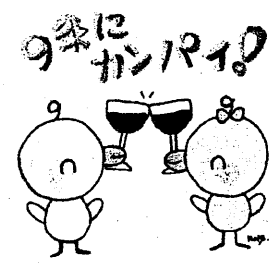
小松敏幸先生に米寿お祝いをお届けしました。



身辺雑記あれこれ

一月二十三日、今年も日和佐の薬王寺へ。早朝四時に朝食抜きで出発した。着いた時やつと門が開いたところであった。この二十三番札所は「厄除け」で有名、信者が多い。ご本尊は薬師如来で「衆生の病苦を救い、無明の瘡疾を癒す」という。わが身と合わせて、身近な人々の代参も果たしているわけで、まことに殊勝なことである。日和佐に入ると雪景色で驚いた。甲浦から室戸までの海岸沿いの道は「歩き道」の思い出に満ちている。

一月二十四日、所得税の確定申告書を作成。算出の結果、納入税額は一一二、一六〇円と出た。昨年は五三、五二〇円であったから、結局六八、六四〇円の増税である。その要因は老年者控除五〇万円の削除にあるようだ。いよいよ増税攻勢が、わが老いたる身にもふりかかってくる。まことに残念無念至極である。



俳句

1月21日(土)

五台山・竹林寺 牧野植物園

春を呼び全山動く五台山 合田青幹

霜囀ひされし印度の青葉の木 吉本伸秋

枯筆の何の恙もなき乱れ 中内英明

ガジユマルの大藪巻きを覗き込み 中内英明

霜囀ひして小便の木と名札 中内英明

冠雪の遠嶺木五倍子の芽の動き 中内英明

散策の声突き抜け来枯木立 凍てゆるむ日向水木の花構へ 小笠原さちを

老眼鏡



「憲法と天皇制」を讀んで 田所 胤雄

「新兵さんは可哀相だねー。また寝て泣くのかねー」。消灯ラッパが鳴ると、兵舎の窓の灯が次々と消えてゆく。旧帝陸軍では一日の行事は総てラッパで知らされた。然しこの哀調を帯びたラッパの響く一時間ほど前には恐ろしい夜の点呼ラッパが鳴っていたのである。

各中隊の兵は班ごとに、このラッパの音で各自の寝台の前に直立不動の姿勢で並ばされる。やがて肩章をつけた週番士官が靴音高く入ってくる。「総員五十名事故なし、番号！」班長の号令で、兵隊は「一・二・三・・・」と番号を叫ぶ。「以上五十名異状ありません」班長は報告する。週番士官は軽く頷くと二・三の伝達事項を述べた後、新兵の方を向くと「〇二等兵、軍人に賜りたる勅諭を云うてみよ」と声をかける。指名された兵隊は「吾国の軍隊は代々天皇の統率し給える処にぞある。昔神武天皇・・・」と丸暗記した勅諭を得々と述べるが、つまつたり、誤つたりすると「もう良し、班長はもつと教育しておけ・・・」と言いついて靴音荒く週番士官は隣の班へと移る。さあこれからが大変である。

すかさず古参上等兵が進み出て「〇〇お前は班長殿に恥をかかせた。俺が気合を入れてやる。皆見しておけ」と怒鳴りながら拳で思い切り頬を殴る。これを機に古兵達も新兵の前に立ち、銃の手入れが悪い。被服の整頓が悪い等々と難癖をつけ、中には軍靴の手入れが悪いと靴の裏を舐めさせられた者もある。どんなに理不尽な事を云われても、暴力を振るわれても、新兵は一切抗議は出来ない。これも軍人勅諭に「上官の命は朕の命と心得よ」とあるからである。かくして明治以来敗戦に至るまで、この絶対服従を旨とする軍隊教育は続けられて来た。後年、敵の重囲に落ちると玉碎命令を出したり、特攻を志願する雰囲気がつくられるのも、この軍人勅諭や万世一系の天皇を規定した明治憲法(大日本帝国憲法)に由来する事は間違いない。

戦後六十年、新憲法の下、これらは昔話になったかと思っていたが、先日高退協読書会で、この本を讀んで驚いた。憲法改悪の話と

並行して、既に現憲法下でも旧憲法時代と同じような体制が進められ、中には天皇を元首化しようとする動きもあると云う。教え子を再び戦場に送らない為にも、また子や孫の為にも、ぜひ一読をお勧めしたい。なお著者の横田耕一氏は高知市出身の憲法学者である。



短歌

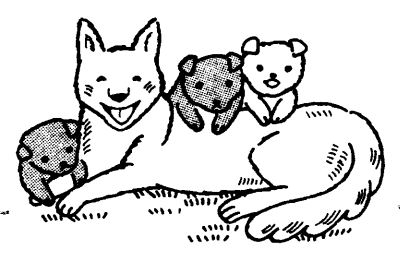
「人の座標」 辺見庸特別評論を讀む 叶岡淑子

清貧も精励ももはや嘲られ(何がおかしい)日本の風景 人が人である世は狂い先細り 「改革」の名の商品化進行 脳出血に痛も告げられ辺見庸氏 それでも改憲「ノー」と叫びぬ 魅了された二つの映画と演劇 榊原忠彦

『24』は『4』の階乗で「潔し」と彼女の文教を聴く度憂むる 寺尾聰 浅丘ルリ子に深津絵里ら 小泉演出はわが映画史に入る (小川洋子原作・小泉堯史監督) 『博士の愛した数式』(二首) 今に活く吉野と弟の喧嘩仲 ミュージカルに乗る憲法と政治論 (井上ひさし原作「兄おとうと」(吉野作造博士兄弟)の舞台劇)

若者を憂う 山本晶子 ネットにて株売り買いし一億円 もうけし男は二十六歳 汗かきて生きる糧得よ指一つで 金など稼ぐな若き男よ 「日本人は貧しい。しかし高貴だ」と言われしことも昔話なり

『国家の品格』(金藤原正彦より)



南西諸島小旅行

窪田一郎

昨年暮れに竹島寛之氏がや
つて来て、「農協が募集しゆう
沖繩の南の島めぐりに行こ
う」で、行く気になった。一
五〇人、バス四台分がチャ
ーター機に乗った。
二・二六、朝大雨。南西諸
島はどうか心配しつつ石垣へ。
午後、バスで島内を回った。
植物相の珍しさが印象に。唐
人墓について知った。台湾政
府の殊のほかの肩入れ。対中
の軋轢ここにも。

初日は石垣泊。ホテルの酒
が高かった。

二日目、船で竹富島から西
表島へ。竹富島は現在家並み
保存地区で、家や塀などの建
築物は昔ながらのものなら許
されるそうで、趣のある小集
落であった。西表では、楽し
みにしていた浦内川の遊覧が
増水で透明度が落ちていて残
念であった。ただマンガロー
プの定義を知ったのと原生林
の雰囲気は気に入った。

この日、竹富島の集落巡り
と西表と由布島の間との二回
水牛車に乗った。二〇人乗
せた車を引く力にビックリと
同時に水牛が哀れでならなか
った。これはみなな思いのよ
うであった。この夜、西表泊。

三日目、石垣へ船、午前中
島をバスで、午後二時、宮古
空港。夕方までと翌日昼まで、
宮古島に隣接した伊良部島、
下地島を巡った。伊良部で凄
みのある神秘的な「通り池」

川柳 小澤幸泉

眺望集①

燃える・友だち・労い

散乱の部屋に埋めた

青春譜

どうしようもない生きざまに
添うてみる

捕らえられし者ひたすらの
愛を知る

エンドレスな老友の話を
聞きつづけ

自画像に長寿ぼくろを
描き加え

が、周囲の景観とともに印象
に残った。
降ったり止んだり、大雨で
ないのをよしとしなければな
るまい。竹島氏以外に、農協
関係の知人数人が一緒。それ
と山田・安芸での教え子（女
性）とも出会い、数十年ぶり
の思い出を語った。「ひとつも
変わっちゃらん」とは二人の
弁！

総じて大変たのしかった小
旅行であった。

スキー旅行



二月十五日より、スキー
クラブは山形蔵王温泉ス
キー場へ行つて来ました。
今回は、21名という
人数でした。

初日から曇り空でしたが
無事蔵王温泉へ到着。
早速滑る人も温泉に入
る人も疲れも見せずに入
しみ、夜は全員で懇親会
を賑やかしに行いました。
一日目はあいにくと曇
り空でしたが、山頂に行
くも強く吹き付ける雪混
じりの風の為視界を遮る
コンディションであったに
も拘わらず樹氷を見なが
ら全員が終日スキーを楽
しみ夜も一杯入った中で
更に滑る人がおり、みん
な満喫していました。
三日目は雲の晴れ間を縫
って山頂から滑る降りた
り、山頂付近の樹氷を見
たりとスキー滑走を存分
に楽しみました。

自身の体調に合わせな
がら滑り、冷え切った体
をじっくり温め温泉で疲
れをとりながら、快適な
天候には恵まれませんでした
したが4日間のスキー旅
行を満喫し無事家路にた
どりつきました。

眺望集②

燃える・友だち・労い

生きるにはつらい私に

孫ができ

何はともあれ生んで生まれて
おめでとう

妻の絵に夫の夢が
抜けている

負け組のうずき政治に
かき消され

昼の町ままだまだ今日が
つかめない

はまる

山本景子

元気で生きていると感じる新
春。一病息災の日々の重ねを惜
しみなく生きようと決めるお正
月。

旅に出たい楽しみを巷で埋め
満足している。林美子の魅力
にとりつかれ、東京新宿を歩い
ている着物姿の美美子が私の中
を巡っている。若いうちには分
かるうとしなかった私だった。
やっとなを分かつて来たような
気である。



市川まさ先生 転居お知らせ
新住所
〒276・0049
千葉県八千代市緑が丘一丁目
3-1

「カムザ・スクエア八千代緑が
丘タワーズ」408号
東葉高速鉄道の「八千代緑が
丘駅・北口」から徒歩2分ばかり。
付近にお越しの節はぜひお立ち
寄りくださいとのことです。

眺望集③

燃える・友だち・労い

玉ねぎを泣きなきむいて

いる平和

労りと無言の中に

復帰劇

身体ポロボロ内なる思い

燃え上がる

熟年の詩書きつづる

冬の部屋

もう一度やり直しても
今がよい

服も重い。材料はりくって全国
から取り寄せた高級品である。
白菜は二億五千万年前の太古の
岩塩で漬けた。チベット産出の
もの。とても旨い！と高評を得
るまで二年の試作を数十回重ね
た。粘るなあと自分に感心して
みたりする。八十六人の予約注
文をとってそれに合わせた分量
だ。なかなか味のいいキムチが
仕上がった。密封容器の中で熟
成する食材は超高級の手作り品
である。丁寧にタッパー高級容
器に入れて車で配達に二日程か
かった。収益は知的障害者への
カンパである。目標までは遠い
遠い……。

一月二十四日。退婦教の新年
会で踊れるか決めかねていた。
怪我の右膝はまだ重いが、まあ
いいだろうと踊る方を選んだ。
ホルストのジュピターの曲を編
曲した平原あや子の歌唱が拔群
だったので、この歌を伴奏に選
んだ。衣装作りは夜中を過ぎて
仕上がりに。それを着て真夜中に
踊ってみる。――永遠の星――と題
をつけた。――生きるとは――の問
いに答えるように踊ろう。本番
は即興なので、動きの中心だけ
考える。出発まであれこれ考え
ていたが、眠れなかつた体で踊
ってしまった。息も鼓動も抑えて
五分間、惜しみなく描いた空間
と時。退婦教のみなさんと一つ
になれていると感じていた素敵
な時間。お捻りが四つ五つと飛
んできた。ふつと我に還って、
お捻りを拾っていると笑いと汗
と大息、そして鼓動が胸の内か
ら沸き出していた。
長い一月だった。

訃報



橋本喜勝先生、二病氣療養中
のところ、一月九日逝去されま
した。八十一歳でした。謹んで
ご冥福をお祈り申し上げます。

高教組だより

いま、高教組は
障害児教育の充実・発展をめざ
して―

高教組副委員長 小松茂弘

文科省は特別支援教育を推し進めようとしています。特別支援教育は、軽度発達障害の子どもたちに適切な教育支援を行うことや、障害児学校を地域の特別支援教育のセンター機能を果たすようにするなど積極的な側面をもつものの、教育行政が行わなければならない教育条件整備には全く触れられていません。つまり、「既存の人的・物的資源の再配分」と、障害児学校や寄宿舎の統廃合という障害児教育リストラをすすめるものです。

高知県では、特別支援教育のあり方を検討するため「高知県における特別支援教育の在り方に関する検討委員会」を設置し、〇五年一二月に審議のまとめを報告しました。この報告が出されるまでの検討委員会の中で、高教組も意見反映を行いました。各障害児学校分会での要求や保護者と話し合わされたことを取りまとめ、「高知県の障害児教育充実のために」を県教組とともに発表し、審議のまとめの中に「高知市及びその周辺に知的養護学校を設置すること」も検討する必要がある」と意見反映させています。

高教組は、教育条件整備をすすめることを要求しています。教職員の労働条件改善も教育条件です。憲法・教育基本法の具体化としてこれまで積み上げてきた障害児教育を充実・発展させるために、父母や教職員、行政担当者と一緒に、たとりにくみをさらにすすめていくようにしています。

会計からのお願い

高退協の年会費は二〇〇〇円です。これで活動をしていくは、とても厳しいです。でも何とか値上げをしないで担当者はやくりくりをしています。そこで、お願いですが、会費の振り込み料(七〇円)は会が負担しています。これが今年の四月三日から一〇〇円になります。つきましては、郵便での会費納入での振り込み料(一〇〇円)の負担をよろしくお願いいたします。

相撲ミニ知識(六十九)

林 勤

戦後三つの改革

その三・一門(系統)別総当り

「一門(系統)別総当り」は、前号で述べた「三賞制度」と共に昭和二十二年秋場所から実施された。今回の「一門別総当り」の内容は、一門と部屋との関連など少し込み入った点があるのですが、まず、「一門とはどういうものか」というところから入ることにする。

現在、相撲部屋は五十四あるが、それには五つの系統(一門)がある。それは、二所ノ関一門(一門には、本家二所ノ関部屋(本県出身玉錦や大鵬らを輩出、本家から別れて独立した花籠部屋(初代若乃花、輪島ら)、以下同じく片男波部屋(玉乃海ら)、同佐渡ヶ嶽部屋(琴後、現役の琴欧州、琴光喜ら)、分家花籠部屋から更に独立した三子山部屋(貴乃花、三代目横綱若乃花、貴乃花ら)というように十五の部屋がある。出羽海一門(内容は省略するが一門の部屋数十二)、高砂一門(同七)、時津風一門(同九)、立浪・伊勢ヶ浜連合(同十二)の五つである。この五つの系統(門別)は、数も名称も昔から変わっていないが、一門の中の部屋の数は以前よりもずっと多くなっている。



また、今後も新たに部屋が興されたり、逆に何かの事情で部屋が閉じられる等で部屋の数は変動する。

さて、現在の取組みは一門(系統)が同じであるうとなかろうと、すべての部屋と対戦する「部屋別総当り」であるが、今回述べる昭和二十二年当時は「東西対抗制」であり、番付が東方(或は西方)という同じ形屋になると、一門が違っても対戦しなかった。

例えば、二所ノ関一門と出羽海一門の力士が番付編成で同じ東方になると対戦しなかった。が、今回の改革で、番付が同じ形屋でも一門以外の力士とは対戦することになったので、今までなら見られなかった部屋同士の対戦が組まれて好取組が多くなり、相撲人気向上に一役買ったことは言うまでもない。

昭和二十二年に取り入れた三つの改革・優勝決定戦、三賞一門別総当り・は、何れもヒット商品となり、好評を博し、相撲人気は次第に上向いていった。(つづく。一門別総当りは、その後、部屋別総当りへと発展してゆくが、その過程や部屋別総当り実施後の話題等は次回に)



私の健康法

池上寿雄

もう半年で満九十才になりました。日常生活を書いてみます。

一、体操

イ、布団の上で、5時にベルで目覚め、身体の表面を手の平で心臓の方へ擦り上げてゆくと、血流を助け、血圧を下げるのではないかと考え、先ず手の先から腕の元まで一ヶ所20回ずつ、撫でて行きます。足も同様に行う。血圧は正常に安定しています。更に腹を撫でたり、腹式呼吸をしたり、指先で押して痛いところ(ツボ)を押したり、自転車こぎ運動をしたり、股を開いたり等約30分します。

ロ、二つ割りの竹を踏み、次いでぶら下がりにぶら下がります。伸び上がりて握り締めたまま足の裏が床につくようになります。ぶら下がりを始めて以来ギックリ腰にはなりません。

ハ、首の運動、首を前後左右に更にグルグル回転させます。

ニ、思い付き体操、つま先立ちったり、四股を踏んだり、蹲踞したり、体をくねらせて内臓に脂肪が溜まらないようにしたり、等々。

三、飲食、朝晩コップ一杯の水を飲む。食事は三食とも米食で、標準体重を維持するように飯の目方を毎回計っています。朝は煮干の出しで何種類もの野菜を混ぜた味噌汁を必ず、おかずは何種類も種々雑多。命は食なりを守る。夕食時ビール小缶と日本酒一合午後外出しない時は、ウイスキーを少々ストリートです。三、心の持ち方、何時までも生きて行けそうな平穏な気持ちで、良心と思われるものに逆らわないよう努める。至純という言葉が好きです。

四、楽しみは草木をいじることです。南国さつき愛好会(5月に花期展、1月に自由民権会館で県合同さつき展)、盆友会(4月10日に展示会)、南国菊栄会(11月初旬に展示)に属して、年5回出品しています。その他雑草の草木を育てていますが、今福寿草が咲いています。これも増やして欲しい人に分けようか等と考えたりしています。

おわり